



◆今一度、ご確認を ～SNSの利用について～

先日、メディアで次のような記事が報道されました。

オーストラリア、SNS利用に年齢制限を設ける法案を年内提出へ ネット上の危害から子どもを守るため

オーストラリアのアルバニー首相は9月10日、InstagramやFacebookなどのソーシャルメディアを子どもが利用しないよう、年齢制限を設ける法案を年内にも提出すると発表しました。ネット上のいじめなどへの対応が迫られる中、ソーシャルメディアの運営企業に社会的責任があるとして、利用者への年齢確認を求める方針です。年齢確認の方法など具体的な内容は検討している段階ですが、**最大で16歳までの利用を禁止する**ということです。



今月のニュースでしたので、記憶に新しいところですが、オーストラリアでは野党も賛成していて、法案が提出されれば可決されそうです。そうなれば、国の法律としてSNSの利用制限を禁止する初めての法律となります。アメリカやフランスでも同様の法制化の動きがあり、今後、日本にも同類の法律が制定される可能性も否定できません。SNSが子どもを性犯罪やいじめに巻き込む危険性をはらみ、子どもたちの不規則な生活習慣を乱しているかの表れです。SNSの子どもたちに与える影響は世界の課題となっています。

今、本校では、SNSの利用状況において黄色信号(または点滅赤信号)の状態です。その理由として先日実施しました児童アンケートや児童から聞かれる日常会話の中にその一端を垣間見ることができたからです。

『昨日の夜、1時過ぎまでスマホで動画を見ていました』『今日も夜10時ごろにメール送るからね』『昨日は5時間ゲームをしました』『今日、〇〇ゲームで戦おうね』などなど、連休明けの子どもたちの会話の一部です。それから最も危惧しているのが、バトルロイヤル系のオンラインゲームの影響です。子どもたちがオンラインで行っているゲームについてはご存じでしょうか？具体的なゲーム名については挙げませんが、その多くが「暴力的、性的、反社会的な表現、言語及び思想」に関して審査し、ゲームソフトの対象年齢を査定している「CERO」の規格によると「15才以上対象」(Cの記号)となっています。15才未満は禁止ではありませんがご家庭で十分検討していただく必要があると思います。

オンラインゲームで起こりやすいトラブルとして、「子ども自身の暴言」「仲間はずれなどのいじめや人間関係のトラブル」「高額課金」「長時間プレイなどの依存問題」「知らない人とプレイすることによる個人情報漏洩や出会い系被害」などがあり、5年以上前から警鐘がなされています。インターネット等で検索すると、具遺体的なトラブル事案をたくさん見ることができます。



学校でも、実際に数件のトラブルが生じています。今日も『〇〇(ゲーム名)始めようかな』と低学年の子どもたちが話していたと、担任からの報告も上がってきました。そこで、子どもたちには全校集会の場でオンラインゲームで遊ぶことの危険性について話をしたところです。

是非とも、ご家庭でも話題にいただきSNSの利用について再度ご確認してください。以前にもお伝えしたかと思いますが、SNS上のトラブルにつきましても、守備範囲が及ばず学校で対応することが困難です。子どもたちをトラブルから守るためには保護者の皆様のご理解・ご協力が必要です。どうぞよろしくお願い致します。

